漫画家から見た 最近の海賊版サイトと 新たな怒りポイント

赤松 健 2021/11/29

(公益社団法人「日本漫画家協会」常務理事)

【近年の漫画業界について】

かつて右肩下がりで破滅するかと思われた出版業界が、マンガのデジタル化(電子書籍化)の波にうまく乗り、マンガ部門のある大手出版社はここ数年、増収増益が続いています。

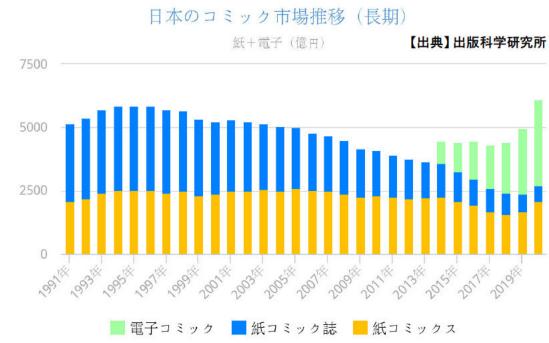
出版全体でも、 2020年の紙+電子出版市場は 1兆6168億円で、2年連続プラス成長。 (出版科学研究所調べ)

巣ごもり需用もあり、比較的コロナに 強い業界です。また大ヒット作も数多く 出ました。

海賊版対策も、国の協力を得て

- 静止画ダウンロード違法化
- リーチサイトの違法化

が施行されました。



statpedia.com

どうしても海賊版のアクセス数や被害額ばかり強調してしまいますが、何もしなかった場合よりもはるかにマシになっているはずです。 まずは、関係者の皆さまのご尽力に感謝いたします。

【海賊版サイトの検索結果について】

以前は、拙作『UQ HOLDER!』を

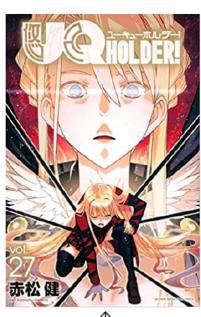
- UQ HOLDER zip
- UQ 無料 rar

などとgoogleやyahooで検索すると、海賊版サイトが数多く出てきたものですが、最近はかなり出にくくなっています。

→ 恐らく、出版社の地道な交渉や努力が 実を結んでいるのでは。

また、有名リーチサイトで『UQ HOLDER!』最新 27巻(2021/11/9発売)を検索したところ、まだ 置いてありませんでした。他の海賊版サイトで も、『UQ HOLDER』海賊版の掲載は1~26巻ま でで止まっています。

→リーチサイト違法化や、出版社による訴え が効いてきている可能性?



今月出た27巻は まだリーチサイトに載ってない。 昔は発売翌日には載っていたも のである。



※ただし、単に私の人気(需要)が 落ちてきただけかもしれません

【海賊版に対する怒りポイント(新)】

大手のストリーミング海賊版サイトで検索しても、最新27巻はありませんでした。

しかし雑誌掲載版なら、最新189話まで順に閲覧できます。 ↓

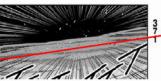












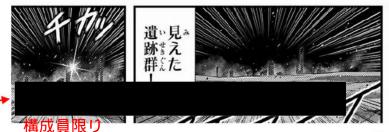
そしてその全ページに、あたかも著作権を主張するかのような、海賊版サイトの透かし刻印が!

★新たな怒りポイント

- 1. 自分たちに権利があるかのような自己主張
- 2. 画質が非常に良い(電子版のスクショだから)
- 掲載がとても早い(発売当日など)
- 雑誌版からの違法なコピーは、デジタル版のみ(紙で印刷されない)の新人作家に特に深刻なダメージを与える

漫画家たちの努力にただ乗りして大儲けする許し がたい海賊版行為が、今も横行しています!





【ではどうすれば良いか?】

既に違法化されたリーチサイトはともかく、ストリーミングサイトに関しては、今も閲覧だけなら合法です。これに対して有効な対抗手段があまり無いのも分かっています。

・・・すると、どうしても「サイト・ブロッキング」を 考えたくなりますが、日本漫画家協会では、 「通信の秘密」や「表現の自由」を脅かす可能 性があり、国民の生活にも直接影響するサイト・ブロッキングに対して、「漫画家の権利を 守るため」という理由で導入することには大き な違和感を抱きます。

当協会のちばてつや会長も「ブロッキングという手段が諸刃の剣になりかねない」と危惧しています。

出版社&国と、漫画家(権利者)団体とが言い争うことは、海賊版サイトを利することになるため、避けなくてはなりません。

海賊版サイト接続遮断措置について



知的財産戦略本部が「海賊版サイト」の対策として緊急避難的に接続を遮断することが出来る、とする判断をされたと聞き、まずは日本が国をあげて「マンガの危機」に真剣に向き合ってくれていることに、とても心強さを感じました。

しかし僕たちは表現者として常に大切にしてきた「表現の自由」や「知る権利」において、今回の「ブロッキング」という手段が諸刃の剣になりかねない、と危惧してもいます。

だからなお一層、そんな手段すら検討せざるを得ない「海賊版サイト」の存

【海外におけるデジタルコンテンツの整備】

海外ユーザー(読者)に視点を移した場合、例えば 少年ジャンプでは、「MANGA Plus」というWEB漫画誌 で、海外にも日本と同時に最新話を公開しています。 日本からはアクセス不可で、iOS&android用アプリも あります。最初から、英語・スペイン語・タイ語・イン ドネシア語など多言語で翻訳されており、全て無料 なので、わざわざ海賊版で読む必要性が無くなって くるわけです。



「正規版デジタルコンテンツの流通促進」こそ、 最大の海賊版対策になり得る

「日本=アニメや漫画の国」という認識(勝てる分野)を世界に広め、 さらに海賊版を駆逐できるような施策には、 国から支援金を出しても良いのではないか。(※余談)

【日本にいる海賊版ユーザーへの対策】

どんなに正規版が普及しても、「海賊版だけを使いたい人々」は少数います。

(例)手持ちの全端末でオフライン読書したい。ローカルで保存することに喜びを感じる。

その完全な撲滅を目指すのは非効率なので、今は「正規版を常識化し、海賊版を違法でダサいものと印象づける」ことを目指すべきと思います。

そのためには・・・

- ・ 小中学校からの著作権教育
- 「NO MORE 映画泥棒」にも匹敵する広報を・・・ABJで。
 - → 現在の「違法かどうか考えたことが無い」から「これは多分違法だ」と判別できるようにする。

また、ストリーミング形式の海賊版サイトに関しては、

- 国家間で更に連携した海賊版サイト対策
 - →漫画家(権利者)自身が動いて、各国の警察に対して意義の説明を行う
 - →特にクラウドフレアに対する手続きの「コツ」の共有→迅速化

最後に、クリエイター側からは

- 正規版のデジタルコミックでしか表現できないアイデア
 - →縦書きでも横書きでも無い、デジタルならではの新しい漫画フォーマット(再現しにくい)
 - →徐々にバージョンアップする漫画(これも海賊版では再現しにくい)
 - →NFTを組み込んだ、コピーは可能だが、名誉と満足感が買えるシステム
- ・・・など、各分野で総合して海賊版対策を進めると効果が高いのでは。